

日本小児病理研究会 会報 第37号

2005年10月1日

1. 第25回小児病理研究会

平成17年9月10日(土)に秦 順一会長(国立成育医療センター 総長)のお世話により、国立成育医療センター・研究所において、第25回日本小児病理研究会が開催され、盛会裏に終了しました。

本会では、従来と趣をやや変えて、シンポジウム『EBウイルス感染症』(基礎:藤原 成就先生;国立成育医療センター・研究所 母子感染研究部、臨床①小児科から:河 敬世先生;大阪府立母子保健総合医療センター・血液腫瘍科、臨床②内科から:鈴宮 淳司先生;福岡大学・医学部・内科学、病理:大島 孝一先生;久留米大学・医学部・病理学)についての講演があり、その後、主題「EBウイルス関連疾患」の5演題が示説供覧後、発表されました。午後には特別講演『骨軟骨の発生分化と腫瘍』:「先天性・遺伝性症候群に関連した骨・軟骨腫瘍」(石田 剛先生;NTT 東日本関東病院・病理診断部)と「軟骨発生・分化の分子生物学——クロマチン制御を介した軟骨分化機序」(浅原 弘嗣先生;国立成育医療センター・研究所・移植外科研究部)の講演があり、その後一般演題6題が発表され、活発な討議が行われました。

昨年より開始された小児病理セミナー(第2回)は研究会の主催で小児病理研究会学術集会後に開催されました。内容は下記の通りで、大変好評でした。

◎ 小児腎疾患(非腫瘍性)の臨床と病理

臨床:飯島 一誠(国立成育医療センター・腎臓科)

病理:浜崎 豊(静岡県立こども病院・病理科)

2. 幹事会および総会

1) 幹事選挙結果ならびに幹事会

新幹事として、田中 祐吉、堀江 弘、中川 温子、中山 雅弘の各先生が選出されました。さらに定年による退任者の補充幹事として、浜崎 豊、松岡 健太郎の両先生が選出され、総会で承認されました。

今後、幹事会は以下の先生で構成されます(敬称略)。

宮内 潤、横山 繁昭(残任期間2年)

田中 祐吉、堀江 弘、中川 温子、中山 雅弘(残任期間4年)

浜崎 豊、松岡 健太郎(残任期間2年)

2) 第26回日本小児病理研究会は横山 繁昭会長(北海道立小児総合保健センター)により、2006年9月9日(土)に札幌の札幌医科大学記念ホールで開催される予定です。多数ご参加いただきますよう、お願いいたします。

3) 次期副学会長には浜崎 豊幹事(静岡県立こども病院・病理科)が選出されました。2007年は久々の静岡での研究会開催になります。

- 4) 平成 16 年度会計報告及び 17 年度予算は後記のごとく総会で承認されました。
- 5) 森川 征彦総務幹事の任期が終了しましたので、次期総務幹事として堀江 弘先生（千葉県こども病院・病理）が幹事の互選で選出されました。
- 6) 中川温子監事の後任に森川征彦先生（都立清瀬小児病院）が選出されました。
- 7) その他の会務の職務分担
広報活動：中川 温子先生
教育・研修活動：田中 祐吉先生
渉外活動：藤本 純一郎先生
- 8) 今後の本研究会活動については堀江新総務幹事のもとで「あり方委員会」（仮称）を設置し、早急に検討する事となった。
- 9) 第 3 回の小児病理セミナーについては内容が決定した後に、ご案内致します。

3. 事務局より

1) 新入会員のご紹介

6 人の先生が新しく会員となりましたのでご紹介させていただきます（入会順）。

三重大学附属病院病理部	高村 光幸先生
愛知医科大学病院病理部	岩淵 英人先生
大阪府立母子保健総合医療センター検査科病理	桑江 優子先生
北海道立小児総合保険センター検査部病理	木村 幸子先生
国立成育医療センター研究所発生・分化研究部	清河 信敬先生
自衛隊中央病院研究検査課	安田 和世先生

会員同士の活発な交流を図っていただきますよう、お願いします。

2) 会費納入のお願い

本会の規約により、本会会費は年間 5,000 円となっております。

なお、平成 17 年度会費未納の先生には振り込み用紙を同封いたしましたので、払い込みのほどよろしく申し上げます。

ご不明の点や研究会へのご意見は事務局 松岡(e-mail; matsuoka-k@ncchd. go. jp)までご連絡ください。

日本小児病理研究会事務局

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

国立成育医療センター臨床検査部病理内

TEL : (03) 3416-0181 FAX : (03) 3416-2222

日本小児病理研究会のホームページ

<http://plaza.umin.ac.jp/~jspp/nonframe.html>

日本小児病理研究会平成 16 年度会計報告

(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

ならびに平成 17 年度予算

会員数 94 名 (平成 17 年 9 月 1 日現在)

	16 年度決算	17 年度予算
収入の部		
会 費	340,000 円	300,000 円
前年度繰越金	874,184 円	870,869 円
小児病理学会会費	121,000 円	100,000 円
郵便貯金利息	15 円	15 円
計	1,335,199 円	1,270,884 円
支出の部		
学術集会補助	250,000 円	250,000 円
小児病理学会経費	128,000 円	100,000 円
事務・通信費	21,932 円	30,000 円
I P P A 会費	17,225 円	20,000 円
会員名簿	47,110 円	
小計	464,330 円	550,000 円
次年度繰越金	870,869 円	870,884 円

平成 17 年 9 月 1 日 中川 温子 監事により監査を済ませ、総会にて承認を受けました。